

平和に関する指導実践記録

第1学年 1・2組	指導者	椎木・西村	
教科・領域	道徳	単元・題材	おこりじぞう
目 標 または ねらい		使用教材 ・ 資料 等	
○ 子どもたちに戦争と言う言葉の意味を知らせると共に、戦争の悲惨さについて考えさせる。		○ DVD「おこりじぞう」	
本時の学習 (実践日 平成27年7月15日 水曜日 第4校時)			
学 習 活 動		児童の主な反応・様子	
1. 戦争について色々なことを知る。		○ 戦争が始まった日や終わった日、原子爆弾が落とされた日などを知る。 ・ 日本に原爆が落ちた。 8月6日 広島 8月9日 長崎 ・ たくさんの人が犠牲になった。 ・ 長い戦争だった。	
2. DVD「おこりじぞう」を見る。		○ 次第に話に引き込まれ、熱心に視聴していた。	
3. わらいじぞうがどうして怒ったのか考える。		・ 飛行機にみんなを殺されたから ・ ひろちゃん(主人公)が死んでしまったから ・ 戦争をやめてほしいと思ったから ・ 爆弾をみんなに落とさないでほしいと思ったから	
4. 感想を書く。		○ 心に残ったことを感想に書く。 ・ 悲しい思いをした。 ・ ひろちゃんが死んでしまったから、かわいそうだった。 ・ 戦争なんてなかったらいいと思った。 ・ わたしがひろちゃんだったら、すごくこわかったと思う。	
単 元 を 終 え て の 考 察			
<p>事前にボランティアによる紙芝居で原子爆弾のことは軽く触れていたが、しっかりと考える初めての時間となった。戦争や原子爆弾などの言葉の意味を知っていた子どもは少数で、初めて聞く子もいたため、いつ頃のことか、言葉の意味など丁寧に指導した。「おこりじぞう」は、5歳のヒロちゃんが誕生日を迎える8月6日に原子爆弾が投下され、命を落としてしまい、それを見ていたわらい地蔵がおこり地蔵の顔に変わってしまうという話である。映像の視聴では、皆熱心に視聴していた。</p> <p>わらい地蔵がどうして怒り地蔵になったのかを考えることにより、戦争の残酷さや悲惨さ、その悲しみを感じ取ることができ、戦争がいけないことだと感じていた。</p> <p>1年生にとって初めての平和授業だったが、主人公が「ひろちゃん」という同世代の子どもで、表現もわかりやすいため、とてもいい教材だったと思った。</p>			